

介護生産性 リーダー養成研修

現場の改善を、学びから動かす。

受講
無料

介護現場では、人材不足への対応や職員の負担軽減、業務の効率化を図りながら、利用者へのサービスの質を維持・向上させる取り組みが求められています。

本研修では、介護テクノロジーの導入事例や業務改善の実践例を通じて、現場の課題を把握し、改善活動を推進するための知識と具体的な手法を学びます。

受講形式

対面受講

各科目 定員30名／1事業所1名まで

オンライン受講

定員上限なし ※科目により対面のみ

全5科目から、必須1科目＋選択2科目

まず共通の改善手法を学び、関心や課題に合わせて2講座を選びます。

1. 必須科目 | 全員受講

時間：14:00～16:00

必 10/14（水） 介護現場における「生産性の向上」とは 対面・オンライン

2. 選択科目 | 4講座から2つ選択

時間：14:00～16:00

I 11/11（水） 600件の相談事例から学ぶ！
介護テクノロジー導入リアルQ&A 対面・オンライン

II 11/25（水） 業務時間の見える化 対面・オンライン

III 12/9（水） ノーリフティング 対面のみ

IV 12/16（水） アンケートの作り方 対面・オンライン

※本研修は、R8年度介護テクノロジー普及促進補助金と介護DX化推進補助金の補助要件となっております。
（但し、コンサル会社等による業務改善支援や厚生省委託事業による各セミナーなどを受講済（又は予定）の事業所を除く）

カリキュラム

1. 必須科目 | 介護現場における「生産性の向上」とは

1 | 生産性向上とは何か

介護現場に必要な背景
介護テクノロジーの有効性と重点分野
機器の特徴と導入検討の注意点

2 | プロジェクトの進め方

業務改善の7つの視点
基本的な工程と進め方のポイント
事例から学ぶ生産性の向上

2. 選択科目 | 4 講座から 2 つ選択

I 介護テクノロジー導入リアルQ&A

- ・ 600件以上の相談事例からよくある相談内容を紹介し、それぞれの対策とポイントについて学ぶ

◇例 「職員のモチベーションマネジメント」
「課題に合った機器選定の考え方」
「導入後の活用・定着に向けた準備」 など

II 業務時間の見える化

- ・ 業務時間の「見える化」とは
- ・ タイムスタディとは
- ・ 具体的な手法とその進め方
- ・ グループワーク「タイムスタディの準備を進める」
- ・ タイムスタディのポイント

III ノーリフティング

- ・ ノーリフティングと生産性向上
- ・ ノーリフティングの目的
- ・ 介護現場における腰痛の現状
- ・ ノーリフティングの普及・定着・維持のために
- ・ 機器を使用したノーリフティングの実践（実技）

IV アンケートの作り方

- ・ 業務時間の「見える化」とは
- ・ アンケートの目的
- ・ 具体的な手法とその進め方
- ・ グループワーク「アンケートを作ってみよう」
- ・ アンケート作成のポイント

申込方法・受講上の注意

ホームページ、またはQRコードからお申込みください。

申込期限 10月7日（水）

- ・ お申し込み後、受講方法（会場・オンライン）は変更できませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 対面受講は1事業所につき1名までのお申し込みとさせていただきます（先着順）。
- ・ 会場での対面受講の定員に達した場合は、オンライン受講をご案内いたします。

会場 長崎県庁1階 協働エリア（エントランス奥）

〒850-8570 長崎市尾上町3-1
JR長崎駅／長崎駅前バス停から徒歩10分



研修申込



お問い合わせ